

株式会社コメリ

2022年3月期第1四半期

決算補足説明資料

(2021年4月1日～2021年6月30日)



<https://www.komeri.bit.or.jp/>

© 2021 KOMERI Co.,Ltd.



2021年7月27日
東証一部 (8218)

2022年3月期 第1四半期 決算実績（連結）



（単位：百万円）

	当第1四半期 実績	構成比	※1 前年比	参考数値 ※2 前々年比
営業収益	106,431	100.0%	96.1%	110.3%
営業総利益	36,863	34.6%	96.7%	113.9%
販売管理費	26,467	24.9%	102.8%	104.8%
営業利益	10,396	9.8%	84.0%	146.1%
経常利益	10,429	9.8%	84.2%	145.4%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	6,992	6.6%	82.2%	144.6%

※1 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用しております。

この前年比は2021年3月期に当該会計基準等を適用したと仮定して概算した増減率を記載しております。

※2 前々年比に関しては、新基準と旧基準を比較した参考数値となります。

カテゴリー別実績



(単位: 百万円)

	2022年3月期 第1四半期		参考
	売上金額	※1 前年比	※2 前々年比
工具・金物・作業用品	17,835	94.9%	113.1%
リフォーム資材・ エクステリア用品	16,177	101.6%	121.8%
園芸・農業用品	34,275	99.1%	111.0%
日用品・ペット用品	14,884	92.8%	101.3%
家電・レジャー用品	9,406	91.1%	106.6%
インテリア・家庭用品	7,732	87.2%	104.5%
燃料他	1,242	82.8%	77.7%
ホームセンター部門合計	101,556	95.8%	109.9%

- ・前年の緊急事態宣言下で発生した需要の反動減がありました。
- ・住環境改善ニーズは高く推移しており、結果として核カテゴリーの売上水準も高まりました。
- ・ウッドショックによる建築資材の需要増に対応し、商品供給に努めました。

※1 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しております。
この前年比は2021年3月期に当該会計基準等を適用したと仮定して概算した増減率を記載しております。

※2 前々年比に関しては、新基準と旧基準を比較した参考数値となります。

フォーマット別実績



(単位:百万円)

	2021年3月期 第1四半期		2022年3月期 第1四半期		参考数値
	売上 前年比	売上 既存比	売上 前年比	売上 既存比	売上 前々年比
パワー	120.5%	118.1%	103.2%	95.4%	120.8%
PRO	150.4%	103.3%	174.1%	96.0%	260.1%
ハード&グリーン	114.4%	114.1%	92.7%	92.5%	105.4%
合計	116.2%	115.2%	95.8%	93.3%	109.9%

各フォーマットともに昨年の反動減が見られますが、コロナ禍で新たにご来店いただいたお客様にも継続してご来店いただけている状況となっております。

既存店月別売上推移



- 4月は園芸用品が好調で、コロナ禍の反動減を補うことができました。
- 5月以降、核カテゴリーは堅調なもの、季節品が不振でした。
- 既存店売上を前々年と比較すると売上の水準は確実に向上しております。

販売管理費



(単位:百万円)

	2022年3月期 第1四半期		
	実績	前年比	前年差
人件費	12,207	104.6%	+532
販売費	3,591	104.8%	+165
設備費	8,042	104.5%	+349
その他経費	2,625	88.7%	▲334
合計	26,467	102.8%	+712

	実績	前年比	前年差
うち広告宣伝費	798	126.1%	+165
うち賃借料	3,141	103.3%	+101
うち減価償却費	2,881	103.6%	+101

【設備投資等】	
設備投資額	2,390

- 【増加要因】** 人件費 新規採用等による従業員数の増加
 販売費 前年チラシ折込自粛期間の反動
 設備費 新店投資等による減価償却費・賃借料
【減少要因】 その他 前年取得した情報機器(消耗備品費)

連結貸借対照表



(単位:百万円)

区分	科目	2021年3月末	2021年6月末	増減	主な増減要因
資産の部	流動資産	158,114	165,562	7,448	
	うち 現金及び預金	17,303	22,998	5,694	
	うち 商品	114,391	111,399	-2,991	
	固定資産	190,044	189,807	-237	
	うち 有形固定資産	162,629	162,559	-69	
	うち 無形固定資産	8,618	8,613	-5	
	資産合計	348,159	355,370	7,211	
負債の部	流動負債	100,094	101,818	1,723	支払手形・買掛金+4,195
	うち 短期有利子負債	14,005	14,027	22	
	固定負債	47,502	47,221	-281	
	うち 長期有利子負債	30,771	30,307	-464	
	負債合計	147,597	149,039	1,442	
	純資産合計	200,561	206,330	5,769	株主資本+5,769
	負債純資産合計	348,159	355,370	7,211	

2022年3月期第1四半期出店状況



出店数	いつも安い、なんでも頼れる パワー KOMERI	PRO KOMERI	身近な暮らしのパートナー コマリ ハード&グリーン	国内	海外
通期計画	10	3	13	26	—
第1四半期実績	1	0	1	2	1



4月22日 パワー新宮店
(和歌山県)



6月18日 ハード&グリーン新ひだか店
(北海道)

国内店舗数は1,209店舗に(6月末時点)

タイ1号店の出店



コメリハードアンドグリーン パノムサラカーム店



6月25日 オープン



2022年3月期第1四半期改装状況



■既存店改装の推進 ～プロトモデルの水平展開～

	改装店舗数 (店)	改装坪数 (坪)
通期計画	151	約80,000
第1四半期 実績	41	約15,000

既存店改装は、当初計画の通りに進捗しております。

生産性の高い棚割への更新による店舗収益性の向上

店舗のすべてを「ストアラボ」でシミュレーション



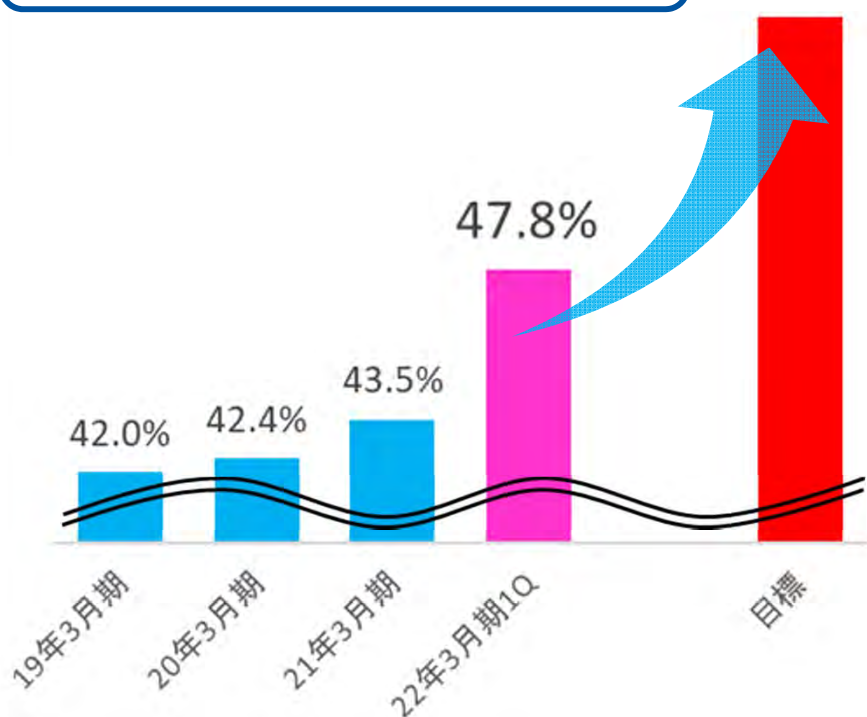
商品力強化



■ 同じ品質ならどこよりも安く、同じ価格ならどこよりも良いものを

PB売上高構成比

50%へ



電動工具カテゴリーブランド
UBERMANN デビュー

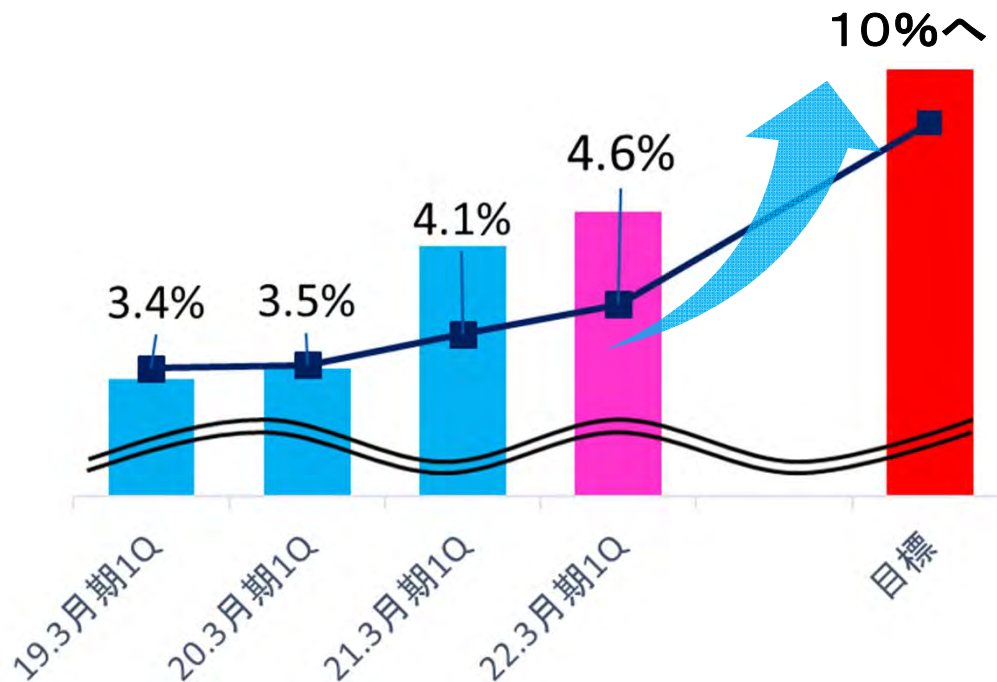
“コメリでしか買えない” 差別化された商品開発を

ネットと店舗の融合(BOPIS)



■1,209の拠点(実店舗)を持つ強み

EC売上高とEC比率推移



第1四半期EC売上前年比 107.4%と堅調

農業支援



■ JAとの協業（2020年3月～JA上伊那に続き）

2021年4月～

JA山形おきたま 管内のコメリ3店舗と協業を開始

JA紀の里 管内のコメリ1店舗と協業を開始

⇒ 組合員様、JA様、コメリの“三方良し”を拡大



リフォームサービスの拡充



■ 住環境改善ニーズの高まりに対応



- ・ハード&グリーンまで全店受付可能な工種・サービスの拡大
- ・教育体系の整備による受付可能人員の増加
- ・住急番サービス
売上前年比
140%

リフォーム売上前年比120%



おかげさまで、コメリリフォームは
2020年オリコン顧客満足度調査
戸建てリフォームホームセンター部門

第1位

コメリグループのESG・SDGs



重要課題	主な取り組み内容	対応するSDGs
環境に配慮した事業の展開	<p>環境に配慮した商品・サービスの提供</p> <p>事業活動におけるCO₂排出量の削減と開示</p> <p>プラスチック包装容器の削減及び廃棄物の削減</p>	
少子高齢化社会における社会的インフラの提供	<p>新商勢圏への出店による店舗網の拡大と雇用の創出</p> <p>住まいに関するローコストな商品・サービスの供給体制の確立</p> <p>農産物等の食料生産に必要な生産資材の提供の推進</p> <p>災害時における生活必要物資の供給体制の構築</p> <p>DXの推進によるローコストオペレーション体制の確立</p>	
公正な取引の推進 事業活動における 人権尊重	<p>「お取引にあたってのお約束」の遵守</p> <p>持続可能な原材料及び商品調達の実施</p> <p>多様な価値観・プライバシー等を尊重し、人種、民族的背景、性別、宗教、障害、年齢、性的指向等理由とした差別の禁止</p>	
多様性の尊重 働きがいのある環境づくり	<p>多様な人材がより能力を発揮できる教育体制の整備</p> <p>性別やライフステージに関わらず、従業員が活躍できる環境整備</p>	
コーポレートガバナンス 強化への取り組み	<p>持続的な企業価値の向上のための体制整備</p> <p>取締役を含めた経営陣幹部の多様性の確保</p>	

■ 新市場区分(プライム市場)適合

2021年7月9日付で東京証券取引所より、新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果を受領し、「プライム市場」までの上場維持基準に適合している旨の通知を受領いたしました。

今後、新市場区分選択に関して、コーポレートガバナンスコードへの対応含め、準備を進めてまいります。

2022年3月期 業績予想



(単位:百万円)

	2022年3月期 業績予想	※1 前年比	参考数値 ※2 前々年比
営業収益	382,000	100.0%	109.6%
営業利益	27,500	91.4%	148.9%
経常利益	27,600	91.6%	148.2%
当期純利益	17,300	85.4%	144.9%

※1 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しております。
この前年比は2021年3月期に当該会計基準等を適用したと仮定して概算した増減率を記載しております。

※2 前々年比に関しては、新基準と旧基準を比較した参考数値となります。

2021年4月27日に公表した通期業績予想を据え置いております。



いつもそばに、ずっと

コメリ

【見通しに関する注意事項】

当社が開示する情報の中には、将来の見通しに関する記述が含まれている場合があります。これらの記述は、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定に基づくほか、様々なリスクや不確定性・不確実性を含んでおります。したがって、現実の業績は当社の見込とは異なる可能性があります。